

# エポロEシーラー

床・壁の  
新築・改修用

## 溶剤系エポキシ樹脂下塗材（2液形）

エポロEシーラーは、エポキシ樹脂の強力な密着性と耐薬品性を利用し、コンクリート・モルタルの素地を強化すると共に、上塗材との密着性を向上させます。また浸透性に優れるため、緻密な下地に対しても高い密着性を発揮します。

### 標準塗装仕様（素地：モルタル下地の場合）

工程	使用材料	調合比 (重量比)	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装回数	工程時間 (23℃)	塗装方法
下地処理	下地に付着している埃、レイトランス、油分その他を除去する。 不陸、段差、巣穴などは前もって補修する。 塗装前は乾燥した清浄な下地とする。						
下塗り	エポロEシーラー	A液:B液 1:1	無希釈	0.15~0.20 (※1)	1	5~72時間	刷毛・ローラー スプレーなど
上塗り (※2)	溶剤系上塗材：ハイアートシリーズ、ネオシリカシリーズ（ネオシリカ5000は除く）など 溶剤系塗床材：イサムフロアーV(V2)、イサムフロアーPU、エポロフロアーU、エポロフロアーESなど 仕上塗材：アトロンエラストマーWT、アトロンソフトDX、アトロンソフトDXローラー用、アトロンソフトGPなど						

※1 塗布量は下地の吸込み度合や状況によって多少の増減があります。

※2 上塗りに関しては、各材料のカタログ・SDS等をご参照ください。

### 塗装上の注意事項

1. 調合比は塗膜性能を十分に発揮するために重要です。A液とB液の調合比は厳守してください。
2. 過剰の希釈は乾燥が遅れ、タレやすくなりますのでご注意ください。
3. 調合した材料は、可使用時間（23℃時8時間）以内に使い切ってください。特に夏季は硬化が早くなるので注意してください。
4. 標準塗布量の範囲で、ダレ、塗り残さないように均一に塗装してください。
5. 標準塗布量以上の厚塗りは避けてください。乾燥不良やひび割れの原因となります。
6. 気温5℃以下、湿度85%以上、表面に結露が見られる場合には施工を避けてください。

### 一般性状

項目	結果		試験方法
	A液	B液	
粘度	10.5秒	8秒	フォードカップ
	10秒	8秒	フローカップ
比重	0.98	0.90	比重カップ法（23℃）
加熱残分	37.5%	12.5%	JIS K 5601
貯蔵安定性	異常なし		6ヶ月貯蔵（30℃）
可使用時間	8時間		23℃
硬化時間	22時間		23℃

### 荷姿

材料名	容量		標準塗り面積
	A液	B液	
エポロEシーラー	15kgセット		75m <sup>2</sup> ~100m <sup>2</sup> /セット
	A液	7.5kg	
	B液	7.5kg	

